学校番号	T0110

平成 31 年度　商業科

教科	商業	科目	課題研究	単位数	１単位	年次	全年次
使用教科書 副教材等	独自教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

商業（前半：ビジネスに関する知識　後半：春日丘高校定時制のＰＲ）に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通じて、専門的な知識と技術の深化、統合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

2　学習の到達目標

この科目では、ビジネスに関する専門的な知識を深めるため、生徒自身が研究テーマを設定し、主体的に系統立てながら学ぶ。生徒自らが自主的に調査・研究し、報告することにビジネスに必要なの望ましい態度や能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自分の興味･関心に応じて､自らテーマを設定し､自主的に調査研究及び報告をする心構えや態度を身につけている	自らのテーマに沿って本やインターネットからの情報収集をする中で多様な角度から問題を掘り下げて、主体的に分析･判断して､課題の追求をし体系的にまとめ、その成果を創意工夫して表現する能力を身につけている。	調査方法や情報収集の方法。また、効果的なプレゼンテーションの技術を身につけ、自分がまとめたテーマに基づいて、他の人に伝えるための技能を適切に活用している。	自ら設定した課題について、新たな知識を主体的に掴み取り、理解し、思考し、判断して、問題解決の能力を身につけている。
評価方法	･学習活動への参加状況 ･課題プリントの内容 ･課題の提出、取り組み状況 ･目標と現状による自己評価	･学習活動への参加状況 ･質問に対する発言内容 ･課題プリントの内容 ･プレゼンテーションによる発表の評価	・学習活動への参加状況 ・課題プリントの内容 ・成果物 ・生徒による相互評価	・学習活動への参加状況 ・質問に対する発言内容 ・課題プリントの内容 ・授業内小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	情報の機器の活用	■情報機器の特性 ■効果的な提案方法	 ○	○ ○	○	○	a:提案に効果的な機器や方法を選択できる b:情報収集や主体的な分析・判断が出来る c:適切な調査方法や情報収集を選択できる。人に伝えるための技能を適切に活用している。 d:新たな知識を主体的に掴み取っている。	・学習活動への参加状況 ・課題プリント
後期	課題作成・成果発表	■テーマに沿った調査・研究 ■発表	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:適切なテーマの決定 b:多様な角度からの問題の掘り下げ。創意工夫して表現する能力 c:人に伝えるための技能を適切に活用している d:新たな知識を主体的に掴み取り、理解し、思考し、判断して問題解決能力を身につけている	・成果物 ・学習活動への参加状況 ・発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。